

2009 トライアスロンフェスティバル

第 11 回
全国高校生トライアスロン大会
報告書

有限会社 ケンズ

大会概要

- 大会名称 2009 トライアスロンフェスティバル
第11回全国高校生トライアスロン大会
- 主催 社団法人日本トライアスロン連合
- 共催 日刊スポーツ新聞社
- 後援 国営昭和記念公園、立川市、朝日新聞社、朝日学生新聞社
- 主管 大会実行委員会、社団法人東京都トライアスロン連合
- 協賛 日本サムスン、JAL、アミノバリュー、日本サブウェイ
カナディアンクリスタ、日本バナナ輸入組合、他
- 競技内容 スイム0.75km・バイク20.0km・ラン5.0km
- 競技規則 社団法人日本トライアスロン連合競技・運営規定に準じ、
一部ローカルルールを適用
- 表彰 男女別1～3位
- 事務局 トライアスロンフェスティバル
全国高校生トライアスロン大会事務局
〒188-0013 西東京市向台町2-14-37 A&A 西東京スポーツセンター内
TEL : 042-468-3513
URL : info@teamkens.co.jp

スケジュール

8:30～9:15	受付（入場は9:00）
9:00～9:35	バイクセット
9:40	開会式・競技説明
10:00	招集 スイムウォーミングアップ
10:15	男子スタート
10:17	女子スタート
13:00頃	表彰式

競技役員

技術代表 木村 卓司 社団法人東京都トライアスロン連合
審判長 川添 勝 社団法人東京都トライアスロン連合

レースコンディション

気温 25度
水温 25度

参加者数

男子 43名
女子 10名
計 53名

（詳細別紙）

一昨年同様、ケズカップトライアスロン大会との併催となり、スプリントの距離で開催。昨今の競技人口の高まりを受けて、参加者の増加も見込まれたが、成人（ケズカップ）は伸びているものの、高校生の参加は（この大会においては）ここ 2 年減少している。（昨対 86.9%。一昨年対比 77.9%）小学生からトライアスロンに親しむ子供が多くいるにも関わらず、中学、高校と進学する中で、競技人口が減ってしまうことは、今後のトライアスロン界においても、憂慮すべき問題である。

このことは、各主催者だけでなく、JTU、各都道府県の協会等と連携して現状を分析し、継続してトライアスロンができる環境整備をしていかななくてはならない。

大会は、スタート直前に雨が降り、例年残暑が残る時期の中、今年は気温が低い状況でスタート。寒さを訴える選手もおり、救護からも低体温症対策の指示があった。低体温症で救護に来た者はいなかったが（ケズカップで 1 名下腿部の痙攣で救護室へ）、雨天によりバイクの落車により負傷した選手が 3 名ほど救護に来た。（軽傷）また、足底部を負傷する選手が散見され、プールサイドの安全対策を検討する必要があるかもしれない。

トライアスロン人口の増加に伴い、公園側から一般来園者との接触などについて、かなり厳しい指導が入り、コース上の監視、誘導、規制を強化した中で実施した。しかし、理想とする人数が割り当てられず、緊張を強いられる運営となり、一般のボランティアにも負担をかけた大会となってしまった。

たしかに一般来園者に迷惑はかけられない。しかし、公園からの指導において厳しすぎる面も感じ、今後スポーツイベントとの共存をどうはかっていくかは、大きな問題である。

来年のコース、特にバイクの最終週の銀杏並木からプールまでについては、見直しの要請が出される可能性があり、この公園で開催する主催者間との連携も含め、早い段階から打ち合わせをしていきたいと考える。ランコースにおいては、一般来園者に規制などの負担をかけることから、立川口方面に延伸したコースでの実施。（従来禁止だったコースを公園側から提案）人口密度が減ることから安全対策になり、周回ミス（従来 4 周、今回 2 周）の減少にもつながることから、とても有効なコース変更であった。今後もこのコースで行いたい、スタッフ配置などの問題で検討が必要である。

来年以降も、このタイミングでの開催が考えられるが、「全国」という名にふさわしい大会にするためには、高校生だけで 100 人程度は集まらないといけないと思う。関係各所の努力でそれを目指したいと考える。

以上







第11回全国高校生トライアスロン大会 参加者データ

	2009	2008	2007
エントリー数	53	61	68
昨対	86.9%	89.7%	
出走者数	49	57	64
完走者数	47	57	63
完走率	95.9%	100.0%	98.4%

2009年大会内訳

	1年	2年	3年	計	
男子	12	13	18	43	81.1%
女子	5	1	4	10	18.9%
計	17	14	22	53	
	32.1%	26.4%	41.5%		

学年 都道府県	ブロック	1年			2年			3年			総計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	
東京	東京	6	1	7	8		8	4	1	5	20
神奈川	関東				1		1	5		5	6
宮城	東北		1	1				1	3	4	5
福井	北陸	2		2	2		2				4
福島	東北	1	1	2				1		1	3
愛知	東海	1	1	2				1		1	3
京都	近畿				1		1	1		1	2
沖縄	九州沖縄					1	1	1		1	2
埼玉	関東	2		2							2
山形	東北							1		1	1
大阪	近畿							1		1	1
熊本	九州沖縄		1	1							1
茨城	関東				1		1				1
群馬	関東							1		1	1
千葉	関東							1		1	1
総計		12	5	17	13	1	14	18	4	22	53

ブロック	計	構成比
東京	20	37.7%
関東	11	20.8%
東北	9	17.0%
北陸	4	7.5%
東海	3	5.7%
近畿	3	5.7%
九州沖縄	3	5.7%
中国	0	0.0%
四国	0	0.0%
計	53	

